

成人病の話

講師 長浜 秀策

司会 北原 満夫

1 成人病とは

日本人の平均寿命の長期化に伴って30代後半から死亡率の高くなる病気を総称しており、中でも癌、心臓病、脳卒中が三大成人病と言われ、更に高血圧症、糖尿病などが同様重要疾患になっている。それらは長い間の偏向したライフ・スタイルから生まれるもので慢性化すれば完治が難しくなり、生涯に亘ってコントロールしなければならなくなる。

2 健康診断について

健康診断は常に積極的に、しかも定期的に受けることが何よりも必要である。健康の異常は経過観察の過程で現れる。

色々な例を見ても受診率の高い組織に属する構成員の健康は良好に保たれている。「自分の健康を守るにはあなた」の心掛けを忘れてはならない。

3 成人病の治療

「成人病は生活習慣病」と言われる。したがってその治療には何よりもライフ・スタイルを改善することが必要である。食事は種々の栄養素のあるものを、偏ることなく、ほどほどに食し、毎日適度の運動に務めると共に、薬物療法の場合でも長い目で立ち向かうことが大切である。

4 健康記録

自分の健康を長期的に管理するために、健康についての諸データを常に記録しておき、その推移を観察し特に異常があれば医師と相談することが肝要である。

5 よい医師の選び方

良いホームドクターを持つことは適切なアドバイスを得るために特に必要である。その選び方には次の点に注意する。

- ・自宅から近い
- ・内科が良い
- ・診断が分かり易い
- ・患者離れが良い
- ・必要なら症状にあった医師を紹介してくれる
- ・厳しいが暖かい
- ・いざという時に往診してくれる
- ・日常生活について良く注意をしてくれる
- ・フィーリングが合う

これらの全条件にかなう場合は仲々少ないが、しかし出来るだけ条件にふさわしい医師を選ぶべきである。それが今後の自らの健康にとって最も大事なことである。

(記録)

講師

長浜内科医院院長

大切な衣類のお手入れの仕方

講 師 鈴木 昭一
司 会 石井 充

衣類に付着した汚れやシミをいかに早く風合いを損なわずに除去するかについて「トラブルの種類とその防止法」と「注意を要する繊維の種類と問題点」に区分した説明が、講師の永年に渉る経験に基き行われた。

1 手入れは汚れを完全に落とすのが原則

防水スプレー(フッ素樹脂)を使用すれば汚れが着きにくくなる。最近、花粉や排気ガスの影響もあり、外出から帰宅したら、その日のうちに汚れを払う習慣をつければ予防出来る。洗濯ものも屋外で干すと汚染され易くなるので注意すること。

2 汗は袖口、衿元などの手入れが悪いと侵入し黄変の原因となり、繊維は酸化し弱くなる

人体の汗腺には、エクリン腺とアポクリン腺とがあり、特にアポクリン腺は蛋白を含む汗を分泌して体臭の因をなし、これに塩分が加わると黄変を促進する。汗は早ければ水だけで除去出来る。黄変した箇所は、蛍光洗剤(紫色)を使うと鼠色となり、汚れた感じが加速される。

3 和服は使用後衣桁にかけタオルをのり管状にして汚れを払う

袖、衿などはベンジンなどで叩くのが原則で2~3回繰り返せば輪ジミを防げる。最初は遠くから撫でる感じと、ベンジンを置く感じで何回か繰り返し、最後にタオルを巻いて押さえると良い。色素の入った汚れ(ボールペン、口紅など)は家庭では手を付けず、専門店に任せた方が良い。

応急的な手当をすると、外面の油性分は除去出来るが、色素が残り処理がむずかしくなる。

4 ウェットランドリー

洗剤が不足した場合は、汚れが再付着しやすくなり、多い場合は着きにくく、汚れやすくなる。あくまでも中庸が大切である。アルカリ系の洗剤で植物性繊維を洗う。動物性繊維(絹、毛など)はアルカリ系洗剤を避け、また、熱湯刺激を与える方法も避ける。高級アルコール系洗剤と水で洗うのが良い。レーヨンは水に弱く早くあげる(中性洗剤使用のこと)。ポリエステルは30度以上で洗うと、汚れが侵入して落ちなくなる。

5 ドライクリーニングは水を使わずベンジンで洗うのが原則

マルコポーロの航海中の逸話が起源との説がある。絹の繊維は細かい多量繊維で成り立っていて、その一部を損なっても変質しやすく、手入れの段階で摩擦に弱いので慎重に扱うことが必要である。

6 カビ

高温多湿(15~35度、70%)と汚れの中に含まれている蛋白、澱粉などの栄養分により発生する

7 害虫は成虫の出現時期と、幼虫の加害期にわけられる

カツオブシムシ類、イガ類のほかコオロギ、ゴキブリ等も含まれる。防虫剤は固形のもの(虫の忌避効果)が主流であったが、最近は液状のもの(忌避効果に加えて殺虫効果)も出廻り出している。固形の上記は二種類以上の使用は避け、単品のみで使用する(通常は固体から気体となる習性のものが重複の使用で途中に液化現象が起きることがあるため)。

(記録)

人生の午後は青春 - 幸福の5つの条件 -

講 師 盛吉 順一

司 会 立川 富美代

- 1 ボランティアの現状については、この後のセミナーに話を譲って、いくつかの或る程度の年齢に達した時、人は「残りの人生をどう生きたら良いか」「自分の人生の意義は何か」などの事を考える。 その様な時にふさわしい一冊の本がある。 それはリンドバーグ夫人の書いた『海からの贈り物』という本である。

リンドバーグは周知の様に初めて大西洋横断飛行に成功し、名を挙げた人であるが、同時に長男の誘拐など色々苦難な道を切り抜けて来た人でもある。 夫人はその氏の傍らにあって、常に氏を支えて来た人で自分でも10数冊の本を書き、人々に大きな感銘を与えて来た。

この本は海辺の貝に思いを託して、地球環境について述べる他に「華やかな栄光の過去を切り捨てた一人の主婦が、過去を振り返って第二の生き方を見つけている」と訳者の吉田健一が言う様に、第2の人生について多くのことを語っている。 夫人は言う。「人生の黎明や、40或いは50歳迄の壮年期に属する原始的で肉体的な仕事本位の生き方は中年にはない。しかし、人生の午後が始まるのはそれからで、我々はそれを今までのものすごい速度ではなしに、それまで考えてみる暇もなかった知的な、精神的な活動に時間を割いて過ごすことができる」「中年というのは第二の成長、第二の青春でさえある」つまり、人生の午後には以前にも増して自分で決めなくてはならぬ選択枝も多く、又自分を見つめ直すゆとりを持つことが出来る時でもある。 私達は今こそ「本当の自分とは何か」を考え、「自分はどうしたら他の人の支えになれるか」考えなければならない。

- 2 もう一冊私達の支えとなる本にサミエル・ユルマンという人の『青春』がある。 これはかつての電力の鬼と言われた松永安左衛門の訳で有名であるが、この中に私達を励ます多くの言葉がある。 曰く、「青春とは人生のある時期を言うのではなく、心の有様を言うのだ」「逞しい意志、優れた創造力、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こういう様相を青春と言うのだ」「年を重ねるだけで人は老いない、理想を失う時に初めて老いが来る」又、「人は信念と共に若く 疑惑と共に老ゆる、人は自信と共に若く 恐怖と共に老ゆる、希望にある限り若く 失望と共に老い朽ちる」などなど。

90歳を越して尚、かくしゃくとして後進の指導に当たっていた訳者ならではの名訳により、感動すべき文章となっており、我々の心を打つ所は大変多い。

- 3 スイスの精神分析医として著名なカール・G・ユングは、「幸福の五つの条件」として次の様に述べている。

健康

心身ともに健康であること、それが生活に安心感とゆとりを生む。

ほどよい程度のお金を持つこと

欲をかかず、衣食住、レジャー、教育費、文化費に不安を感じない程度のお金。

美しいことを知る能力

美は感覚だけでなく、人間的な情愛を深め、相手の心を豊かにする。

人間関係を良好に保つ

友情、思いやり、相互扶助の気持ちと愛情を忘れずに。

朝起きた時にやらねばならぬ仕事があること

目標、目的、責任感、生き甲斐、心の張り、支えが必要である。

これらは皆、自らを振り返って心すべきことだろう。

今、話題の人に伊能忠敬がいる。江戸時代自らの足で歩いて、今から見ても実に精密な正確な日本地図を作り上げた人だ。それも50歳迄、千葉佐倉の商家の婿として家業を発展させ、50歳より勉強を始めて55歳より72歳迄、蝦夷を含め全国を歩き日本全図作成の偉業を成し遂げた。作家井上ひさしは彼の生涯を『万歩の男』という小説で描き、彼が中年以後達成した業績の素晴らしさを賞賛している。我々の誇るべき人であると同時に、もって学ぶべき人である。

(記録)

講師

八王子社会福祉協会 ボランティアセンター所長

幕 末 の 千 人 同 心

講 師 野口 正久

司 会 大山 泰

1 八王子千人同心組頭松本斗機蔵と開明派の人々

千人同心組頭松本斗機蔵は 18 世紀末に生まれ、漢学、蘭学、露語などを学び、早くから英才として知られていた。公務で八王子に滞在した最上徳内、又開明派の渡辺崋山、高野長英などとも深く交わり、海外情勢や海防について学び論ずる機会が多かった。その結果を『猷芹微衷』に著し、水戸斉昭に献上している。その後イギリス商船モリン号の渡来の話があり、崋山や長英と同じく打払の無謀を憂慮して幕府へ「上書」を提出している。その際崋山らは幕政批判としていわゆる「蕃社の獄」で捕えられたが、松本は直参であることもあって咎められることはなく、かえって褒詞されている。

2 千人同心と知識人との交流

- ① 伊能忠敬：伊能が寛政 12 年(1800 年)に蝦夷地を測量している折、白糠にて千人頭原半左衛門同心と対面、天文のことなど話し合っている。
- ② 最上徳内：最上は 52 歳で北方探検の仕事を切り上げ、幕府からその功績として士分に列せられ、林野管理官として八王子に滞在した。(享和 2 年、1802 年) その際千人同心の学者として著名な塩野鷄沢・適齋親子と親しく付き合い、鷄沢が最上の浅川町在の小亭に命名した垂氷亭の名は今も残っている。
- ③ 藤田東湖：水戸斉昭の側用人として、その同志と共に「尊王攘夷」の旗印を掲げた藤田東湖は千人同心組頭松本斗機蔵と親交があり、特に蝦夷地問題について当時幕府直轄地であった蝦夷地を松前藩に返還した事情の裏面を斗機蔵が調査した内容を東湖は傾聴、特に北方警備につき幕府のズサンさを憂慮し、水戸藩のその後の北方政策の基礎的裏づけとしている。
- ④ 秋山義方と高野長英：八王子の蘭学者秋山義方はその学問を通して高野長英と知り合い、蕃社の獄で長英が検挙された獄中三年の間も、その後の地下潜行 6 年の間も義方は長英を庇護している。地下生活が続けられたのも秋山家から支出された翻訳の稿料であり、それは 425 両にも達しており、その額は日本の近代化の礎として少なからず貢献したと云える。

3 江川代官と八王子千人同心

幕府代官である江川家は幕末、35 代英毅、36 代英竜、37 代英敏、38 代英武と続き、明治となる。英毅は文化人であったが財政に窮乏をきたし、次の英竜が有名な太郎左衛門で、同様文化人とも交流はあったが財政の建て直しを計り、駿河、伊豆、甲斐、武蔵、相模の十万余石の支配地を有する「十万石代官」となった。また、伊豆韮山に反射炉を築いたのは有名である。この英竜は前述の千人同心松本斗機蔵とも逢い、海防その他につき話をしている。

江川家は次の英敏の時、幕府講武所が設置され砲術師範役として代官の他、幕府近代の砲術教授にもなって千人同心の大きな転換期に影響を与えた。

4 アメリカ騒ぎと千人同心

嘉永 6 年ペリーの率いるアメリカ艦隊 4 隻が浦賀に来航、日本中が大騒ぎとなった。八王子宿でも当然この騒ぎに巻き込まれている。また、千人同心組頭伊藤家の息子は幕臣秋山家の養子となり、秋山透として浦賀警備に当たり、ペリー上陸、幕吏との接見の実情を見聞し、八王子の実家にその様子について手紙を送っている。

5 近代兵制と千人同心

幕末、高嶋秋帆による西洋銃隊操練をきっかけとして近代兵制化の波が広がっていった。千人同心へ 700

余丁の西洋銃(主にゲベル銃)が下付され、江戸から教示方を迎え教練が始まった。中でも千人頭河野仲次郎は自ら教則本を執筆し、洋式調練に大きな役割を果たした。千人同心はその流れの中で槍奉行配下から講武所奉行配下へと変わり、慶応2年10月には陸軍奉行配下となり名称も千人隊と変わった。河野のこの間の情熱は千人同心の幕末諸活動のエネルギー源となったのである。

(記録)

講師

元・八王子中学校校長会会長

時局展望 - 危機の日本打開の道は？

政治不信と経済低迷

講師 菱山 郁男

司会 北原 満夫

現代日本は戦後最大の危機的状況にあり、第二の敗戦とさえいわれる。これまで「何とかなさ」という気分でやって来たそのツケが、今ここに来て日本に大きくのしかかって来ている。これを乗り越えない限り、日本に明日はない。そんな情勢について政治状況を中心に述べると共に、今後の行くべき道を探る。

1 最近の世論調査によれば、過去に比べて暮らしが良くなっているという人はわずか4%、悪くなっているという人が39%、変わらずという人が47%で悪くなっているという人が圧倒的に多い。又、政治の面でも調査によれば橋本内閣の支持率は過去最低であり、政党支持率も最高 - 自民党でも25%であるのに対し、支持政党なしが55%と圧倒的に高い。まさに政治不信極まりという状況にある。しかも野党もその状況を突破出来る程の力がなく、又橋本首相に代わる人がいないという点も問題である。

2 経済面では株価は15,000円台に低迷し、円も対ドル130円の後半にとどまる中で消費は低迷が続き、巨額な不良債権を抱える金融機関と大幅な財政赤字という問題がその底にあって、更に経済の足をひっぱっている。先進各国は日本に内需の拡大を迫っているが、それに対する恒久減税や規制緩和などの対策もはかばかしくない。政治もこの状態に風穴を空けられる程の力がない。そんな中で世界は米ソ三大対立後、大きな変化(グローバルイゼーション)をとげつつある。それに今や「大競争時代」に入っているという現実がある。そんな中でホンネとタテマエを使い分ける日本流のダブル・スタンダードでは生き残れない、問題先送りすることなく、55年なれあい体制を打破すべきだ。

3 それではどうすれば良いか

政治不信から脱却し、投票所へ足を向けよう(「支持政党なし」の層の1/3は何かしなければと思っている層であり「全く関心のない」の多い若年層を除けば、その中間も又色々なことに動かされる層である)「志のない政治家」「自分の生き残りのみを考える政治家」を辞職させよう。

「政治改革」を更に徹底し、重複立候補など廃止させよう。我々の税金より政党へ支払われる資金の使い道をよくチェックしよう。

自由化、市場化、国際化に耐える「世界に顔を向けた日本」を作りあげるため、政治経済の各分野で人材を発掘、育成し世界に向かって新しい日本を作らねばならない。そのためには私達皆がもっと勉強し、より賢くならねばいけないし、同時に今のこのピンチの状況に一層の関心を持って、皆でこの国を救うために努力しなければならないと考える。

(記録)

講師

日本テレビ(株) 解説室長

続・成人病について

話し手	長浜 秀策
司 会	北原 満夫

講話に基づいて各参加者から、諸症状、生活態度などについて一問一答の形で長浜先生と対話がなされた。内容は多岐に亘ったが、参加者一同大いに今後の行動の指針として感銘を受けた。

(記録)

少年法の行方

話し手 米田 昭

司 会 加藤 寛

少年人口の減少にもかかわらず、少年による凶悪な犯罪が多発しており、しかも低年齢化の傾向が強く、社会的にも大きな問題となっている。 その様な中で少年法の見直し、即ち、改正意見の声もきかれるのが現状である。

そこで始めに少年法の立法精神等に触れ、更に明治、大正、昭和にわたる少年法の推移について解説がなされた。 また少年法の運用状況として、一般保護事件の終局処理状況等につき、平成7年の結果についてふれた。

次に諸外国の少年法制について、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、韓国の概要(相違点)について解説がなされた。 因みにわが国の現少年法は昭和23年に立法され、当時のアメリカのある州のそれをモデルとしたと伝えられており、いわゆる「回報思想」に撤し、検察官は徹底的に排除されているのが特色となっているとのことである。

セミナーを通じ参加者より多くの質問、意見が出されたことを付記する。

(記録)

知 ら れ ざ る ス イ ス

話し手 鈴木 幸雄
司 会 田淵 元子

1 日本人のスイスに対するイメージ

- ・風景の美しい、絵のような国。
- ・平和で中立を保ち、どの国とも仲良くしている。
- ・生活水準も高く、高級精密製品(時計など)を誇っている。

2 上記のイメージは間違いないが、それを支える点

- ・世界で最も長い民主主義の歴史をもつ。
- ・何世紀にも亘って自由のために戦って来た小さな国。
- ・誰でも自由に訪れ、見てもらうことが出来る国。
- ・高品質の製品、そしてそれを維持するための技術、サービス。

3 国としてのスイスのアイデンティティ

- ・連邦主義(地方分権国家)
26のカントン(州)により構成され、各州は各々自らの議会政府をもつ準国家的な存在。
- ・直接民主主義(国民投票)
- ・武装中立
国民皆兵で、成人は年一定期間、兵役に服す義務を負う。
多民族が同居する国家である故に、上の三つのアイデンティティで国としてまとめている。

4 スイスの言語

歴史的に各民族が割拠しているため、言語も、ドイツ語(74%)、フランス語(21%)、イタリア語(4%)、それに土着のロマン語が、わずかの人々によって使われ4つの言語が公用語となっている。

5 スイスの将来

現在、国連にもEUにも所属していないが、将来このままで良いかどうか議論の余地が大いにある。

参加者一同はスイスの知られざる一面に触れ、改めてこの国の複雑さに驚く思いがした。

(記録)

お 茶 の 楽 し み 方

話し手 安藤 美代子

司 会 大串 延子

話し手は、おばあさまの指導で6歳の頃よりお茶のお稽古を始められたという本筋の師である。
全ての日常生活の立居振る舞いにも、お茶の心を活かしながら、伝統文化の茶道を形式ばらずに楽しめる様に、と話を進めた。

20名の参加者が広間にかぎの手に座して、お菓子のいただき方、お茶のいただき方を学んだ。 飲みごろのお服加減がとても美味しく、甘いお菓子とよく合って、皆二服ずついただいた。
その後、お道具を拝見し、改めて理にかなった茶道に感心させられた。
3名の社中の方々がお手伝い下さり、雅な雰囲気浸ることが出来た一時であった。

会 記

床	江戸中期古文書
花	季節のもの
釜	風炉 唐銅朝鮮切合
棚	搔合二重棚
香合	高麗青磁
水差	信楽焼
茶人	金輪寺 溜塗
茶碗	小樽焼 銘 草原
替	会津焼
茶杓	竹
蓋置	砥部焼
建水	瀬戸焼
お茶	銘 又玄 松華園詰
菓子	さくら 千松園製
器	万古焼

(記録 大串 延子)

シミ抜きについて

話し手 鈴木 昭一
司 会 石井 充

参加した女性のサロン会員から和服のシミ抜きについて質問が集中した。

1 家庭でのシミ抜きは

- ・水溶性のシミは殆ど水で抜くことができる。
- ・油性のシミはドライで処理する。
- ・シミ部分を表から下まで通して濡らし、乾いたタオルで上から叩く、絶対にこすっては駄目。後で乾いたタオルで巻き込んで水分をとる。
- ・シミの周りからベンジンで濡らす。最初にシミの部分にベンジンをつけると輪ジミとなってしまう。
- ・シミがついたら出来る限り早く処理する。
- ・何のシミか分からない場合は先ずベンジンであとは水で。

2 専門家は

輪ジミでも抜くことは可能、超音波洗浄は毎秒2万回の震度で処理する。変色した衿に色をかけることも可能。

3 カビ

一度乾かしてから押さえるようにして拭く、あとは防カビ剤を使用する。虫干しは温度の低い11月～2月が最適。和紙(アイロンをかけて乾燥したもの)で包み、桐のタンスで保管する。

4 アイロン

取っ手の後ろの方を持ち、前を少し上げる様にしてかける。衿などは上から押さえるようにする。

シミ抜きの実技も行い1時間半は瞬く間に過ぎ、終了後も話し手は個人的な質問を受けていた。

(記録)

年寄りの財産をどう守るか

話し手 藤野 豊
司 会 石井 実

1 お年寄りの財産

年金、預貯金、不動産などが該当する。

2 老後の財産は幾らあれば良いか

夫婦二人で7,000万円～1億円(不動産を含む)必要。

3 ぼけた時、財産をどう扱うか

- ・自分がボケた時の扱い(老人のぼけ 100人中7人)
- ・周囲の人から守るには

権利擁護センター『ステップ(飯田橋)』に相談するのが最も良い。

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ11F

老人の相談先として最適、費用無料

八王子弁護士相談所は担当範囲が広く不向き、費用30分5,000円

4 老人対応事業例

- ・中野区ひとり暮らし高齢者財産保全サービス
- ・武蔵野市福祉資金貸付事業
- ・高齢者財産管理センター

5 現在の法律制度とその問題点

- ・禁治産宣告
- ・準禁治産宣告

6 新しい成年後見制度とその問題点

7 相談事例

①遺言状あり、遺産相続人無し 遺言にしたがって、財産を処分する以外なし。

②母親の禁治産宣告をし、長男が後見人に指定してもらう。

ぼける前に「持続的代理権」の委任状を作成する。ー銀行は避けているー

③長男が独立生計をたてている場合、父の行動はやむを得ない。

長男が同居の場合、対策が必要だが難しい。 父親を禁治産者宣告をし、後見人の立場になる以外なし。

(記録)

紙 と リ サ イ ク ル

話し手 井口 禎
司 会 浜野 幸雄

原木資源の少ない日本では、古紙のリサイクルが地球環境保護の立場からも、益々重要な問題となって来ていることを基点として、次の三項目について、解説と質疑が行われた。

1 紙の出来る迄

- ①日本の製紙メーカー約1,500社のうち、製造過程で大量の水を使用する関係から(富士の水を利用するため)富士地区に約500社が集中している現況について
- ②大手メーカーの売上高、製造内容について
- ③現在の生産量について(アメリカに次いで世界第2位)
- ④品種別生産高について
- ⑤原料パルプの種類と古紙混入の際の%と強度の関係
- ⑥木材パルプ(針葉樹と広葉樹)の主成分と代表的樹種について
- ⑦紙の出来る迄のパルプ工程、回収工程、抄紙工程と使用される機材について
- ⑧紙、板紙の品種分類体系と品種について

2 製紙用具

紙の形を作る為の網、水を切る為のフェルト、乾燥させる為のキャンバスの三つが用具としてあるが、最重要である製紙用の網について、歴史的経緯や素材の変化など各種見本(日本フィルコン KK のご好意)により、説明が行われた。

- ①従来(昭和50年以前は金属の網(ブロンズ、ステンレスワイヤーであったが、昭和35年からPW(プラスチック・ワイヤー)の開発を始め、ポリエステル(テトロン)の特許がきれた47年から実用化し、現在は98%がPWである。
- ②製品検査の厳しさについて
製品を製紙会社で使用した場合、紙の表面のワイヤーマーク、地合繫手マーク、穴開きキズ、幅方向の紙厚の均一性など要求は厳しく、完全無欠の製品でないと出荷出来ない。(歩留まり50%)
- ③(プラスチック・ワイヤ)の製造工程について

3 古紙リサイクル

リサイクルの実情について、関連した現況の説明が行われた。

- ①古紙の価格下落による採算の低下について
- ②オフィス古紙(カタログ、パソコンの取扱い説明書などコート紙)など、リサイクルに乗らない古紙が多くなり、在庫が増加している点について
- ③ゴミの有料化が進み、採算を度外視しても自治体は回収しなければならず、また、処理に多大の費用が掛かっている点について
- ④新聞紙、ダンボール紙、印刷用紙等、おのこの用途に適する再生紙への要求度合いが強くなっている点について
- ⑤余剰古紙の輸出について
- ⑥牛乳パック等ラミネート古紙の再利用効果と問題点について
(関連古紙によるはがき作成の実演が行われた)

⑦今後の問題点(再生紙の僅かな黒ずみに対する意識の改革)について

(記録)

古賀政男と服部良一

話し手 平原 俊彦

司 会 大高 秀夫

- ・この二人の作曲家は初期の日本の歌謡界にあって、二つの異なった作風を作り上げ、これが流行歌のその後の二つの流れ、演歌調、ポップス調のいわばさきがけとなった。
- ・特に二人が音楽活動を始めた昭和初期は金融危機、恐慌、満州事変など社会不安が増大してきた時期であったが、その中で古賀政男は函館の新聞記者高橋掬太郎の作詩した『酒は涙か溜息か』で大ヒットをとばし、この二人と歌の藤山一郎、裏面の淡谷のり子の四人が時の大スターとなった。
- ・又、服部良一はやや遅れて昭和11年、藤浦洸の作詞になる『別れのブルース』で戦争色がだんだん色濃くなる時代に大ヒットをあげた。服部は若い時から大フィルの前身に所属し、その初期の指揮者であったエマニエル・メッテルから、朝比奈隆と共に親しく和声学他の教授を受け、それらが土台となってその後の作曲活動に多彩ないろどりと余人に真似の出来ない技術を加えた。
- ・その後、戦争色が強くなって来るが両作曲家はほとんど軍歌は書いていない。ただ、服部は時のスター長谷川一夫、李香蘭主演の映画『支那の夜』の主題歌『蘇州夜曲』という名曲をものにしている。
- ・戦後古賀は『湯の町エレジー』『人生劇場』『柔』など、服部は『東京ブギウギ』『青い山脈』他、数え切れないヒットをとばし、昭和34年日本作曲家協会が設立されると、古賀は初代会長に、又服部は二代目会長に就任している。この二人のコンビで日本レコード大賞も設立された。
- ・古賀最後のヒット曲『悲しい酒』は最初北見沢淳のために作られたが、後に美空ひばりが歌い、それも数回に亘って吹き込み直し、そのせりふも後の録音から入れている。ひばりの絶唱とあいまってこの曲は名曲として長く歌われるだろう。

本日演奏したレコード

題 名	作 詞	作 曲	歌 手
酒は涙か溜息か	高橋 掬太郎	古賀 政男	藤山 一郎
私此頃憂鬱よ	高橋 掬太郎	古賀 政男	淡谷 のり子
酒は涙よ溜息よ	英 はじめ	服部 良一	墨田 進(楠木 繁夫)
別れのブルース	藤浦 洸	服部 良一	淡谷 のり子
蘇州夜曲	西条 八十	服部 良一	霧島 昇・渡辺 はま子
蘇州夜曲	西条 八十	服部 良一	坂本 紀男(霧島息子)
八王子音頭	西条 八十	古賀 政男	久保 幸江・加藤 雅夫
悲しい酒	石本 美由紀	古賀 政男	北見沢 淳
悲しい酒	石本 美由紀	古賀 政男	美空 ひばり
悲しい酒(せりふ入り)	石本 美由紀	古賀 政男	美空 ひばり

(記録)

ボランティアの現状

話し手 盛吉 順一
司 会 立川 富美代

1 八王子ボランティア・センターの行っている事業

広報活動だより等の発行

学校児童、生徒のボランティア活動、協力校への助成

老人クラブ交流給食会、地域清掃、花いっぱい運動、他

育成研修事業

高齢社会に生きるボランティア実践講座

在宅介護技術講座

青年ボランティア活動、体験

青年達の地域社会、国際社会に対する関心を深め、市民の一人として積極的に社会づくりに参加する意義を学ぶ

2 ボランティア・センター関連事業

訪問食事サービス事業

市より委託の食事サービス、配食サービス(平成8年約4000食)

車椅子貸し出し事業

高齢者、身障者対象(年間950台)

手話協力派遣事業(登録人員33名)

上記活動の説明後の討議

中学生が高校進学のための内申書に有利なためボランティアをしたり、大学生が就職に有利なためにするケースあり、これは問題。しかし、中には真剣に取り組んでいる子供達もいる。

民間給食ボランティアで給食のみでなく話し相手になったり、シーツ替えなど色々やるケースも多く、一人ぼっちの老人の多いことに驚く。

「ボランティア」の意味は人を助けることと考えている人が多いが、本当の英語の意味は「進んで行く人」と解する事が正しく、手を必要としている人達のため「進んで行く」ことの出来る人達が一人でも増えることが望まれる。

(記録)

毛利元就と桂家

話し手 桂 元二

司 会 田子 稔

桂家の出自は毛利家に発する。毛利家は八王子とも深い縁がある故に、そのルーツをたどり、同時に桂家との関係についても話し手より、以下のごとく話しがあった。

- 1 毛利家は第15代平城天皇の王子阿保親王の子音人より始まる。大江氏第11代の広元は源頼朝の鎌倉幕府創業にあたって、諸制度制定などに功があったとして関東評定衆の要職についた。広光の4男季光は他の兄弟と異なり武士にふさわしい性格を備えていたので、全国の所領の中で鎌倉に近い要衝の地、相模の国毛利の荘が与えられた。以来季光の家は毛利姓を名乗ることとなる。
- 2 八王子には毛利氏の支配地の横山荘(現在の八王子市の広い範囲)が含まれており、また山田の広園寺、片倉城などは毛利氏によって創建されたと伝えられている。しかし、季光は幕府内の争い(三浦氏対北条)に妻の実家三浦方について敗れて、一族ほとんどは自決したが、季光の四男経光は遠く越後の領地に出向いていたため、この戦いに加わらなかったとして命は長らえたものの、越後と安芸の国吉田、それと河内の国の所領以外は没収されてしまった。経光の4男時親は安芸の国吉田の地頭となって安芸毛利氏の祖となった。時親の曾孫匡時は毛利から分家して、所領の地名桂邑から桂を名乗り、これが桂家の祖である。
- 3 昨年の大河ドラマ『毛利元就』に出てくる紋章『一に三ツ星』は大江氏の紋だが、そのルーツは大江氏の祖阿保親王の称号一品親王の『一と品』を縦に並べたものと云われている。因みに毛利家の紋章は『抱き澤潟(だきおもだか)』である。
- 4 元就は今から501年前の明応6年に安芸毛利家第9代弘元と正室福原氏との間に次男としてうまれたが、5歳の時母が亡くなったので、ドラマの中で杉の方と呼ばれていた側室の高橋氏に育てられた。元就が10歳の時、今度は父広元が死に、兄の興元も大内氏に従って京都に滞在していて、淋しい思いをして暮らす元就に愛情を傾けて養育にあたった杉の大方は、信仰、感謝、慈悲の心など、人間として大切なことを教えた。元就は杉の大方を終生忘れられぬ恩人として、杉の大方が亡くなった後、郡山城の麓に祠を建てて梶若社として祠ったと云われている。
- 5 毛利家第11代の当主幸松丸が9歳で亡くなった後の毛利宗家を誰が継ぐか、で議論がなされた。家中では興元の弟で優れた資質を持った元就を推す声が強かったが、異母弟元綱に宗家を継がせようとする尼子の意向を受けた家臣達の間で暗闘が続いた。元就はその時既に分家して猿掛城の主となっていたので宗家を継ぐことは難しいとされたが、多くの重臣達の連判状を得た上で將軍家の許しを得て元就が宗家を継ぐことになった。この15人の連判状の中に桂元澄が名を連ねているが、元澄の三男元親が話し手桂元二氏のご先祖にあたり、また五男広繁の後裔に3期にわたって総理大臣を務めた桂太郎がいる。
- 6 ドラマの中で元就の妻の名を美伊の方としていたが本当の名は明らかでない。妻の死後光就の手紙などには「妙玖」という名前が出てくるが、これはその法名からこのように呼ぶようになったものであろう。元就と妙玖の夫婦仲は極めて良く、3人の男子と2人の女子の5人の子に恵まれた。大正から昭和にかけての教科書に取り上げられた、いわゆる「三矢の訓え」は事実ではないが、3人の兄弟が仲良く互いに力を合わせて毛利の家を守って欲しいという願いを込めた教訓状は遺されているが、元就が子供達に与えた手紙の中に妙玖様という文字がしばしば出てくることから見ても妻を尊敬していたことがうかがえる。
- 7 時は下って関ヶ原の合戦で毛利は西軍豊臣方の総大将として陣に臨んだが敗れ、本来なら毛利家は取り潰されるところであったが、間際に徳川方に寝返った小早川を取りなしで取り潰しは免れたものの、中国8カ国120

万石の大大名から防長2カ国36万石に減らされ、交通不便な萩に移封されてしまった。それが260年後の徳川幕府に対する倒幕運動の火種となった。

- 8 明治維新の元勳の一人である桂小五郎は藩医の和田家から桂家に養子に入った人である。後に木戸幸允と改め侯爵に列せられた。またその孫木戸幸一は昭和天皇の側近として内大臣をつとめた。

以上のほか、話し手より詳細にわたる『毛利元就と桂家』『大江氏略系』『毛利歴代藩主花押一党』他の参考資料が配布された。桂小五郎の京都での活動、芸妓幾松との話、幕末の毛利藩内の抗争、明治初頭の士族の困窮ぶりなど、興味ある話も色々とあって大変面白いセミナーであった。

(記録)

食 べ 物 事 情 あ れ こ れ

話し手 向山 光春

司 会 中野 義光

古代より現代までの食べ物について、幅広い範囲に涉って、歴史的経緯に基づく解説が次の通り行われた。

1 最近男女共生時代で「男子も厨房に入る」ようになり、また、豊かさからの「飽食の時代」とも言われているが、この傾向は近々50年位のものである。

2 歴史的に考古学の分野(発掘品)から検討すると

- ① 食べ物の根跡が、泥炭層のため残っていた(青森三内丸山遺跡)
- ② 食器、土器の保存に重点が置かれたが、僅かに米を焼いた跡が認められた。(弘前城設立時の亀が丘文化)
- ③ 魚の骨(平目、鯛、鮭、鱈)、鳥の骨(鴨、雉子、鷹)、澱粉質(栗、胡桃)、栽培植物(いぬえび、瓢箪)、ワイン用(にわとこ、葡萄)の夫々が、青森県宮野球場造成時に発見された。(最大規模、1990年)

以上のことから、当時は澱粉質を常食とし、ワインを飲み、高級魚を食べていたと思われるが、栽培植物の用途については解明されていない。何を食べていたのかは、排泄物を分析出来れば判明するが奈良(長屋大王)などでは、流水を利用した水洗方式であった事が想像でき、残留痕跡がないため、解明の糸口が掴みにくい。東北の平泉(藤原時代)で、便所跡が発見されるまでの以前については、未確認の事が多い。

縄文から藤原時代までの間、弥生時代に米が出現し、栗、胡桃等の澱粉質の需要が、米や稲に方向転換し、田園を中心とした作物に移行して行った。この傾向は内陸地域のもので、海岸地域などについては魚類が中心の食生活であったと思われる。

当時、「男子厨房に入らず」で、料理する事はなかったが、食材をチェックする事はしていたと思われる。当時、飼われていた豚、鶏、牛、馬などは、食用の対象としてではなく、牛、馬は運搬作業用のものであった。

3 現在の食文化は、米魚類の供給が円滑になった江戸末期(文化・文政)に、現在に近い形が出来上がった。日本本土は米、魚が中心であったが、例外として北海道、沖縄は肉食(熊、豚)の傾向が見られた。

4 江戸の人口は100万人、排泄物が関連河川より東京湾に流入していたことから、これが魚介類の生息を助けた一方、地引網が開発され、収穫量が増大し、(食材を日常生活に反映させる事が発達し)江戸前料理の起源となった。(蒲焼、天ぷら、握り寿司)

関東の握り寿司と関西の押し寿司は、食品の性格からしても好対照であった。醤油についても、当初は、関西からの下りもの(溜り)が、高価であったが常用されていた。その後、銚子で従来大豆と塩の素材に加え、小麦を加える事で新種(濃い口)を開発。これが天ぷら汁、握り寿司に適合したうえ、溜り醤油より廉価になったので、1800年代は関東産が殆ど主流となった。

5 現在の我が国の米作について、次の通り解説された。

- ① 減反を要求しないと残米が増える現状について
- ② 品種改良に伴う耐冷品種、味覚品種(ささにしき、ひとめぼれ等)の開発について
- ③ 機械化に伴う問題点について(高齢化、日曜農業化)
- ④ 農地と後継者に関連した問題点について

6 現在の我が国の漁労について、次の通り解説された。

① 網の素材開発による漁獲量増加について

合成繊維は腐らず、丈夫なうえ、吸水性がなく、軽く、水揚げ作業が安易となり、漁船への積込み量も多く出来るようになった。

② 鰯、鯖の日本での消費の現状と漁獲状況(200 ㍔に伴う漁業規制状況)について
関連した輸入状況について

③ 国内消費量の約 38%が輸入に頼っていて、成田空港が日本最大の水揚げ港である現状について。

(記録)

日 本 人 の 宗 教 観

話し手 土井 俊玄

司 会 野末 孝雄

1 日本人の心の在り方を客観的に探ってみたい

日本人は無宗教の民族といわれる。.....本当か

日本には宗教はあり、むしろあふれかえっている。

例 神社へのお参り神道

葬儀仏教

クリスマスキリスト教

日本人には昔から固有の宗教観がある。それが西洋的な宗教の基準に合わないだけである。

宗教の定義 学問的には確立していない。

宗教とは何かあるもの(霊的存在、神や不死、超自然な力や存在)に対する信念である。

宗教の根源は超自然的なあるいは、神秘的な能力に対する畏怖の念というような情緒的反応によって自然発生的に出現し、受け継がれていくもの。

宗教は絶対的な価値(釈迦の悟りの境地・キリストの神・イスラム教の神)の信仰と、その実現にあるという。

2 日本人が無宗教といわれるようになった原因

第二次世界大戦後、GHQが軍国主義の解体の際、神道をその温床と見做し解体した。神道の否定が宗教の否定と認識され、無神論から無宗教説が言われるようになった。

3 日本人は本当に無宗教なのか

無宗教とはその民族が未だ精神文化の段階が未開野蛮な状態にあり、人間としての信頼性に欠ける民族との評価を受けてしまう恐れがある。

日本には、キリスト教、イスラム教、ヒンドゥ教のような宗教はないが、日本人の宗教を表す端的な名称がないだけである。

4 寛容・あいまい・無宗教というレッテル

世界的にみると、日本人のようなこれほど寛容さを見せる民族は数少ない。

ユダヤ民族対アラブ民族

ヨーロッパにおける諸民族の対立：残酷な殺し合い

寛容さ...あいまいと見られ、無宗教のレッテルを貼られる。

日本人はなぜ寛容なのか。それとも外来文化や異民族に対して無関心なのか？

周囲を海に囲まれた島国＝外国人に侵略され占領された経験がなく無関心といえるのではないか

寛容＝外来文化や異邦人について良くも悪くも、とりあえず受容、その後時間をかけて自らに役立つものを吸収していくしたたかさを秘めた寛容。

（記録）

歴史への誘い

話し手 野口 正久

司会 森下 敏雄

講演『幕末の千人同心』のあと、主として千人同心につき質疑応答が行われた。その主なものは以下の通り。

1 千人同心の成り立ちについて

武田家家臣団に小人組(コビト組)と称するグループがあり、武田家滅亡後、徳川家の家臣となり、天正18年家康江戸入りの際、その家臣団を八王子城落城後の地の治安と、甲州国警備を目的として頭9家と同心(小人組)250人を八王子に移し、翌年頭1家を興し同心250人を加え500人にし、その後関ヶ原の役の時、大久保長安が同心500人を加えて千人同心とした。

尚、信玄の娘、松姫は武田氏滅亡後八王子に逃れ、後まで千人同心ら武田遺臣の精神的より所となった。

2 八王子の軍事都市としての性格

八王子は軍事の際にも有用のように都市づくりが行われている。町の重要な道筋に寺がおかれており、いざという時は、陣屋に使えるようになっており、道は直進ではなく東西の出入り口はカギ形になっている。千人同心の拝領屋敷を西端に、その東に宿場、商人町が設置された。これらはかつての軍事都市としての性格である。

3 八王子の二つの姉妹都市

①寛政12年に幕府から命ぜられ千人同心は苦小牧に警備と開拓のため入植し、農地を開発した。これは、それまでの蝦夷松前藩の取ろう採取中心の産業政策を革変するものであったが、残念ながら幕府の政策変更や諸条件がうまく行かず自然消滅の形となった。しかしその縁で苦小牧と八王子は昭和48年姉妹都市の契りを結んだ。

②千人同心は幕府の支配体制が整い、世情安定してくると日光東照宮の防火、将軍参拝の際の供奉に従事し、承応元年「日光勤番」の役割をになうことになった。又、慶応4年4月の日光山麓の戦いの節、千人頭石坂弥次右衛門は官軍隊長板垣退助に日光を無事に明け渡したが、本人は閏4月10日八王子に帰任、その後一戦も交えず責任をとって自決した。日光はそのことを縁として八王子と姉妹都市の契りを昭和49年に結んだ。

(記録)

編されても怒れない手品

話し手 大野 聖二

司 会 松尾 信一郎

マジックには、やられる場所や雰囲気などにより次の様に分類される。

1 テーブルマジック

少人数で食卓やリビングルーム、もてなしの席などで披露される。 アマチュアの場合5～6名で楽しめて笑って頂ければ大成功。 テーブルマジックには以下の様なものがある。

- a ティッシュペーパーによるマジック
- b シンプル(指抜き)～ マッチ箱でも可
- c フォーク曲げなど

2 パーティマジック

宴会場などで行われるもの

- a ロープ切り
- b スケッチブックなど

3 ステージマジック

舞台で行われる大がかりなもの

演技者は次の約束を守らなければならない。

- ①演技前に現象などの説明をしないこと
- ②同じ場所で同じ手品をしないこと
- ③タネを明かさないこと、又見ている人もお互いに解説をしないことも大切

以上の解説と共に参加者皆がやさしいマジックを話し手より教えて戴いた。 初めてのマジック、まあまあの出来に全員大満足。 時間のたつのも忘れ、夢中になった楽しい一刻であった。

(記録)

自分にあった余暇を見つけよう

話し手 川津 鉄禮
司 会 北原 満夫

人生 85 年とすると時間に直し約 7 4 万時間となる。 その内約 1/3 (24～26 万時間) が自由時間として残され、この大部分は 60 歳を過ぎたいわゆる定年後に与えられる。

1 余暇とレクリエーション

動物として生きるための最低条件(眠る、食う、排泄する、働く)の他に人間として生きるための条件、即ちレクリエーション(考える、創る、遊ぶ、自ら活動する、etc)が必要である。 レクリエーションとは人間の生き甲斐であり、人間らしく生きるための行動であり時間であり、かつ生活であって、それ自体が目的であり、人間生活の主要な部分である。 即ち、他から拘束されない時間に、自主的、能動的、且つ創造的な自己実現のためのアクションであると考えられる。 望ましい余暇生活のあり方は、次の三つの段階の内第二、第三段階がより重要である。

第一段階 余暇生活の個人化のための活動

第二段階 余暇生活の集団化のための活動

第三段階 余暇生活の社会化のための活動

2 自己診断

参加者全員で次の自己診断を行った。

- a 定年後の普通の一日の設計
- b 余暇の生活度チェック
- c 余暇生活パターンチェック
- d 老人ボケ予測テスト

(記録)

美術四方山話

話し手 岩岡 茂之

司 会 大野 幸二

日常生活に関連した美術の見方、考え方について、系統立てず雑談形式で、各項目に渉り解説された。

【使用された現品見本】

イ 朝日 豊斉	均窯釉香炉	直筆箱書付
ロ 富田 溪仙	風景 掛軸	木版画
ハ 片岡 球子	題字 色紙5枚	直筆
ニ 片岡 球子	リトグラフ	松原の富士
ホ 片岡 球子	リトグラフ	めでたき赤富士

1 形の基本について

- ① 方(角)、円(丸)とその変形について
- ② 五行説による形の陰(-)陽(+)について
- ③ 形の正面(方向)に関する考え方について
- ④ 方の正面(四方八方)、円の正面(全面、三本足の正面(一頂点))について
- ⑤ 用途に基づく型の重要性について(水がめ、種子壺、油壺、金魚鉢、瓢型徳利など)

2 色の持つ意味合いについて(紫、赤、黄)

3 箱と掛紐の体裁について(蓋の造り、防虫、事故防止の目的)

4 掛軸の紐の扱い方と表具の種類による識別について

5 伝えられた図柄の意味するものについて(長寿、蓄財、立身出世、吉祥図など)

6 伝来のルートについて

- ① 国内ルート(所蔵家名、出所の確認)
- ② 外国ルート(シルクロード、海上)

7 ガンダーラ観音像、ヨーロッパエンゼルの伝来とその変貌について

8 忍者の解釈による伝来について

- ① 茶室は共同謀議に利用され、防衛上庭の道を曲がりくねらせ植込みを配置し、忍者がその陰に潜んで客の行動を監視した。(お庭番の起源) 茶室の入口(にじり口)が狭いのは、武器を携帯して侵入しにくくしたためである。
- ② 戦国時代の建物には仕掛けが多く、忍者は境(仕切り)を踏んで、危険の有無を試して進んだ。この習慣が境を踏む事は相手を信じない事に通じ、行儀作法上の非礼に当たることになった。
- ③ 障子、襖を開ける際に中腰から膝をつくのは、向かい側に敵が待ち構え、不意打ちされた際の防衛上の姿勢で、これが後には行儀作法上のきまりとなった。
- ④ 建築様式上の六尺単位は、室内では大きな武器が使えず、また床の間の造り、周り廊下などは、万一の外的侵入の際の防衛上、最高の造作として必要と伝えられた様式である。

9 肖像画(ブレザー着用時のワイシャツ、ネクタイのきまり)、人物画(舞妓の服装、服飾品の季節、催事に関連したきまり)に関する作家のこだわりについて

10 ビュッフェと鎌倉彫(宗家三橋派)の直線処理による作風の共通点について

11 版画リトグラフについて

- ① オリジナルと復刻版の相違点について
- ② 限定枚数の国際的習慣について
- ③ サインは鉛筆であるのが原則である点について
- ④ 試し摺り、見本品、作家保有分の決まりについて

(記録)